

2022年3月10日

各 位

会社名 株式会社フューチャーリンクネットワーク
代表者名 代表取締役 石井丈晴
(コード番号：9241 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役 経営統括部部長 中川拓哉
TEL：047-495-0525

株式会社エフェクチュアルに対する資本業務提携に関するお知らせ

当社は、2022年3月10日開催の取締役会において株式会社エフェクチュアル（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中 倫明、以下「エフェクチュアル」）との間で資本業務提携を行うことについて決議し、本日付で合意いたしましたので、その旨をお知らせいたします。

記

1. 業務提携の趣旨

当社は、「地域活性化を継続的かつ発展的事業の形で実現することで、社会に貢献する」を理念に掲げ、地域情報プラットフォーム「まいぶれ」の運営を通じ、地域事業者の情報発信・マーケティング支援を推進してまいりました。

昨今、地域事業者・自治体とユーザーとの接点は、以前のポータルやSEOでの集客から多様化が進んでおり、効率的なローカルウェブマーケティングの必要性が高まっています。一方で現状は、高度なウェブマーケティングを実施するためには一定以上のITリテラシーが必要となり、ノウハウやリソースに限りのある地域事業者や自治体においては効果的なローカルウェブマーケティングを行うことが難しいという課題があります。これらの課題を解決するため当社はローカルウェブマーケティングツールである「まいぶれアナライザー」を2021年10月20日にリリースしています。

今回、さらなるローカルウェブマーケティングサービスの強化に向けて、「サービスや商品の価値を体感できるインフラを作る」をミッションに掲げているエフェクチュアルと業務提携をすることにいたしました。エフェクチュアルはローカルウェブマーケティングツールであるGoogleビジネスプロフィールの運用支援SaaS型クラウドサービス「Location Connect」を16,000店舗に導入している実績があります。エフェクチュアルのノウハウや技術力を当社のサービスと連携させていくことによって、地域事業者・自治体に向けた効率的なローカルウェブマーケティングソリューションのさらなる増強が可能になると考えています。

2. 業務提携の内容

合意の主な内容については以下のとおりです。

- ① 当社サービス「まいぶれアナライザー」に対して、エフェクチュアルから技術提供を受け、より地域事業者に対して効果的なサービスを構築していくこと
- ② エフェクチュアルの有する既存の技術・サービスを、地域情報プラットフォーム「まいぶれ」に組み込み、まいぶれプラットフォーム利用店舗への提供を検討すること
- ③ 両社の強みを元にした、中小事業者向けのローカルマーケティングサービスを協同で開発・事業展開をしていくこと。

3. 資本提携の内容

エフェクチュアルは当社に対し、第三者割当増資の方法による優先株式を発行し、当社は64株、取得価格50百万円で引き受けます。これにより当社はエフェクチュアルの発行済株式総数の2.3%の株式を保有することとなる予定であります。

4. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社エフェクチュアル	
(2) 所在地	東京都港区南青山3-4-7 第7SYビル5F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 田中倫明	
(4) 事業内容	インターネットを活用した店舗集客の支援、SNSの運用支援、レビュー・口コミの管理、WEBリスクマネジメント、ツール開発・提供	
(5) 資本金	1億円	
(6) 設立年月日	2014年11月25日	
(7) 大株主及び持株比率 (2022年2月28日現在)	田中 倫明	77.20%
	東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社	11.50%
(8) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

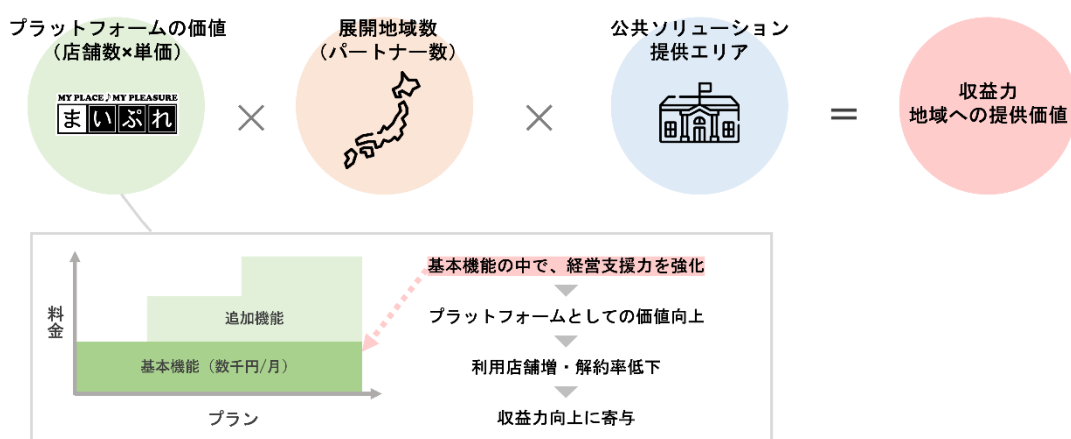
※当該会社の「最近3年間の経営成績及び財政状態」については、同社の意向を踏まえ非公表とさせていただきます。

5. 日程

2022年3月10日	エフェクチュアルとの資本業務提携に関する取締役会決議
2022年3月26日（予定）	契約締結日
2022年3月末（予定）	当社がエフェクチュアルの株式の取得を開始

6. 今後の見通し

■FLNの事業成長モデルの基本方針



今回の取り組みにより、地域事業者に対するローカルウェブマーケティング機能が向上することで単価の向上が見込めるだけでなく、プラットフォームとしての価値が上がり、まいふれプラットフォーム全体の有料利用店舗の増加につながることで、当社の収益力向上にも寄与するものとなります。

本業務連携は、中長期的には当社の企業価値の向上に寄与するものと考えておりますが、現時点での2022年8月期の当社業績に与える影響は軽微と予測されます。今後、本業務連携により公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

(参考) 当期業績予想 (2021年10月14日公表分) 及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (2022年8月期)	百万円 1,531	百万円 101	百万円 97	百万円 71
前期実績 (2021年8月期)	1,349	100	94	79